



# スマイルシティ都城 前進予算

本市の平成26年度当初予算が成立しました。

「農林畜産業」の振興や「地の利」の活用、「人間力あふれる子どもたち」の育成といった、本市が持つ『3つの宝』をより一層輝かせる事業を継続して推し進めるとともに、本市をこれまで以上に対外的にPRするための事業や中心市街地活性化のための事業などに対して、重点的に予算を配分。「南九州の拠点都市（リーディングシティ）」の確立と「笑顔あふれるまち＝スマイルシティ都城」の実現を目指します。

◎問い合わせ 財政課 ☎23-2113

## 平成26年度当初予算の基本的な考え方

経済再生・デフレ脱却と財政健全化を目指した国の平成26年度予算を受け、市では「南九州の拠点都市（リーディングシティ）」の確立と「笑顔あふれるまち＝スマイルシティ都城」の実現を目指した予算を編成。

そのため、本市が持つ『3つの宝』をより一層輝かせるために必要な事業を中心に、重点的な予算配分を行うとともに、財政健全化も引き続き堅持しました。

## 平成26年度当初予算の姿

平成26年度の一般会計予算は、765億7千万円で前年度当初予算に比べ28億4千万円の増額となりました。また、一般会計と特別会計、企業会計を合わせた全ての会計の総額は、1,261億8,404万円で、39億2,688万円の増額となっています。

なお、平成26年度末の全会計の市債残高見込額は、合併直後の平成17年度末に比べて145億円減少して、1,176億円となりました。また、本市にとって負担割合の低い、臨時財政対策債や合併特例事業債の活用などにより、着実に財政健全化を進めています。

## 平成26年度当初予算の姿

～スマイルシティ都城・前進予算～

### ◎マニフェストを踏まえた予算配分

- 一般会計：765.7億円（前年度比3.9%増）  
～合併以降最大の予算規模～

### 主な特徴

- 都城市が持つ『3つの宝』を、より一層輝かす！
- “都城市”をこれまで以上に対外的にPR！

※特別会計：453.7億円（同 1.3%）  
企業会計：42.4億円（同 13.4%）  
全会計：1,261.8億円（同 3.2%）

### ◎財政健全化は引き続き堅持

- 市債残高の純減（既発行債の繰上償還など）

平成17年度末：1,321億円  
平成26年度末：1,176億円（▲145億円）

- 本市負担の低い市債（臨財債・合特債）へのシフト

平成17年度末：8%  
平成26年度末：44%（（臨財債＋合特債）／市債残高）

【実質公費費比率・将来負担比率の抑制！】

## 平成26年度当初予算の基本的な考え方

### ◎国の動向

- 経済再生・デフレ脱却と財政健全化をあわせて目指す予算
- 社会保障・税の一体改革を実現するための予算

施策の優先順位を洗い直し、未来への投資や暮らしの安全・安心の確保など、経済成長に資する施策などに重点化。

### ◎都城市の考え方

- 7つのマニフェストの実現⇒特に、都城市が持つ『3つの宝』を、より一層輝かす！
- マニフェストを踏まえた予算配分と財政健全化の両立！
- 国・県との更なる連携強化！

＋ “都城市”をこれまで以上に対外的にPR！

- 南九州の拠点都市（リーディングシティ）の確立！
- 『スマイルシティ都城』の実現！

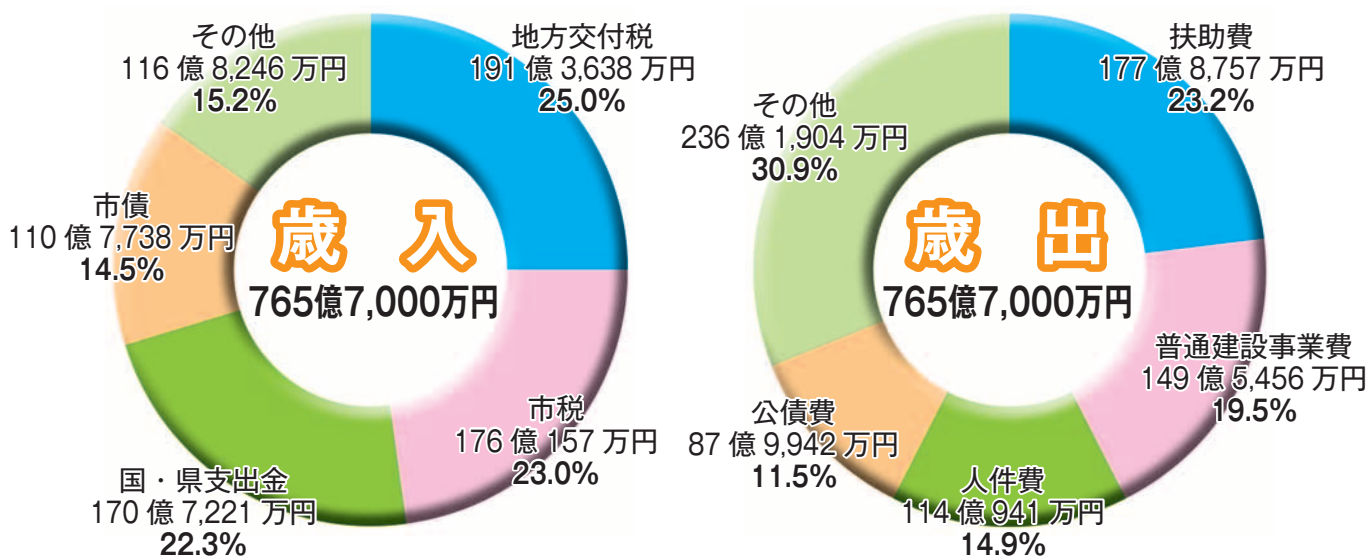


# 一般会計歳入歳出総額

**765億7,000万円**  
(対前年度比3.9%増)

平成26年度一般会計予算は、765億7,000万円を計上しました。ここでは、予算の内訳について費目ごとの増減の主な要因や、市債残高の現状を紹介するとともに、市の予算を家計簿に置き換えて分かりやすく紹介します。

## 一般会計予算



### 用語の説明

- 市債…建設事業や災害復旧事業などの財源となる借入金
- 公債費…市が発行した市債(借金)返済のための経費
- 扶助費…生活保護や児童・高齢者福祉事業などに要する経費

## 一般会計歳出予算費目別一覧

(単位: 千円)

費目	平成25年度 当初予算額①	平成26年度 当初予算額②	増減額 ②-①	増減の主な要因
議会費	415,900	500,736	84,836	議場改修事業、議会だより発行などによる増額
総務費	7,315,633	6,922,341	△393,292	新防災行政無線整備事業、地域振興基金などによる減額
民生費	26,386,116	27,768,813	1,382,697	臨時福祉給付金給付事業、障害者福祉サービス給付費、保育士等処遇改善臨時特例事業、子育て世帯臨時特例給付金給付事業などによる増額
衛生費	11,700,064	10,366,229	△1,333,835	クリーンセンター建設事業などによる減額
労働費	9,393	13,665	4,272	実践型地域雇用創造事業などによる増額
農林水産業費	3,724,566	3,439,945	△284,621	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業の終了、県営畑地帯総合整備事業(万ヶ塚地区)などによる減額
商工費	2,444,813	3,739,678	1,294,865	中心市街地中核施設整備支援事業、企業立地促進奨励措置費などによる増額
土木費	6,079,252	6,860,333	781,081	高城運動公園整備事業、山之口S.A.スマートIC整備事業、雇用創出ゾーン関連整備事業(穂満坊地区)などによる増額
消防費	2,317,433	2,585,143	267,710	消防緊急通信指令施設更新事業、常備消防施設整備事業などによる増額
教育費	4,185,353	5,268,434	1,083,081	縄瀬小学校建設事業、体育施設整備事業、学校給食センター施設整備事業、都城運動公園整備事業、都城烏津邸伝承館特別展開催事業(合併10周年記念事業)などによる増額
その他	9,151,477	9,104,683	△46,794	災害復旧費、公債費などによる減額
合計	73,730,000	76,570,000	2,840,000	

### 用語の説明

- 総務費…課税や戸籍、選挙のための経費
- 衛生費…保健衛生や清掃などの経費
- 民生費…高齢者や児童、障がい者などの福祉のための経費



## 都都市の家計簿

都都市の予算を月額20万円の家計簿に置き換えてみると

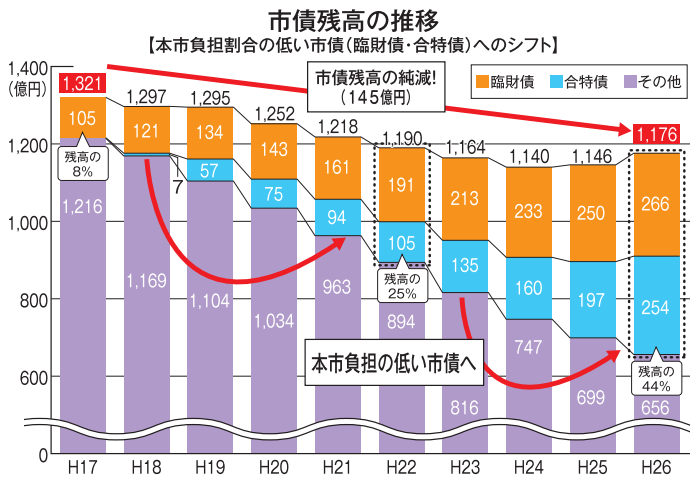
### 収入

### 支出

項目	金額	割合
給料(市税など)	67,897円	33.9%
パート収入(国庫支出金など)	44,592円	22.3%
父母からの仕送り(地方交付税)	49,984円	25.0%
預金の取り崩し(基金繰入金)	8,593円	4.3%
ローンの借り入れ(市債)	28,934円	14.5%

項目	金額	割合
食費(人件費)	29,801円	14.9%
教育費、医療費(扶助費)	46,461円	23.2%
住宅ローン返済(公債費)	22,984円	11.5%
光熱水費、日用品など(物件費)	21,819円	10.9%
家の修理、車の購入など(投資的経費、維持補修費)	40,828円	20.4%
子どもへの仕送りなど(繰出し金、貸付金、補助費など)	36,951円	18.5%
預貯金(積立金)	1,156円	0.6%

## 市債残高の推移



### 市の負担割合の低い 臨時財政対策債と合併特例債へシフト

市の新規の借入金は、地方交付税の代わりに市が発行する臨時財政対策債と合併後15年間発行できる合併特例債という、市の負担割合の低い地方債を活用することで、市の実質的な借金返済額を減らしています。

※借入金の元金と利子に関して、臨時財政対策債はその100%、合併特例債はその70%が、後年度において地方交付税で措置、すなわち、国が返済を肩代わりしてくれます

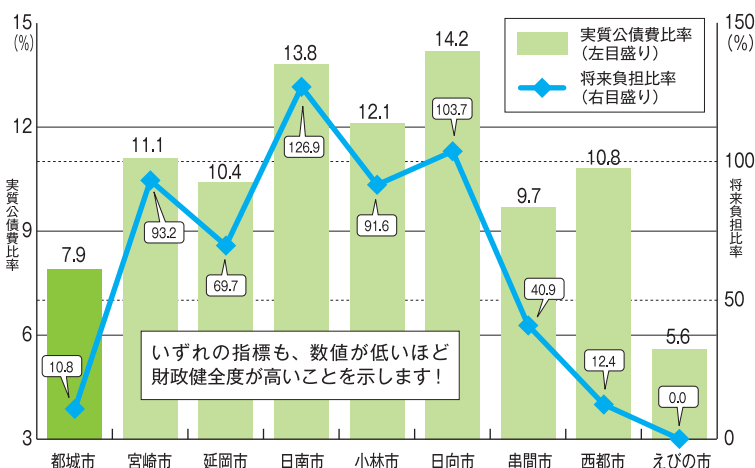
## 財政健全化4指標

### 全ての指標で基準を下回る健全な状態

財政健全化4指標は、前年度の決算に基づいて算定を行います。平成23年度、24年度決算では、実質赤字額と連結実質赤字額は生じませんでした。また、平成24年度の実質公債費比率と将来負担比率は、平成23年度決算と比較して改善し、いずれの値も国の示す判断基準を大幅にクリアしています。

	H23	H24	H24健全化判断基準数値(法)	
			早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	11.41%以上	20.0%以上
連結実質赤字比率	—	—	16.41%以上	30.0%以上
実質公債費比率	9.1%	7.9%	25.0%以上	35.0%以上
将来負担比率	33.4%	10.8%	350.0%以上	—

## 実質公債費比率と将来負担比率(平成24年度決算)の比較(県内9市)



### 県内9市の中でも財政健全度が高い都都市

**実質公債費比率**…市の自由になる歳入のうち全会計の借入金の返済に充てた割合。この指標が25%を越えると、新たな借り入れは国の許可が必要になります。

**将来負担比率**…家計に例えると給与収入の何年分の借入金があるのかを表した指標。350%を越えると国からの指導があります。



『3つの』宝を輝かす



農林畜産業の振興

6次産業化推進事業

【予算額 5,205万円】

本市の基幹産業である農林畜産業の6次産業化を強く推し進めるため、人材育成事業や農商工業者間の連携を促進します。また新商品開発や加工製造などの施設設置を支援します。

全国和牛能力共進会对策事業

【予算額 5,791万円】

平成29年に開催される全国和牛能力共進会宮城県大会で、名実ともに「日本一の和牛生産地」となるため、共進会对策指定交配推進事業や都城牛繁殖素牛促進事業などを推進し、生産者を積極的に支援します。

宮崎牛(都城産)ブランド確立推進事業

【予算額 1,599万円】

国内最大規模を誇る東京食肉市場に生体出荷される肥育牛に対して、輸送経費の一部を助成。これにより、取引頭数を増やし、首都圏で流通する本市産宮崎牛の知名度向上を図ります。



「地の利」の活用

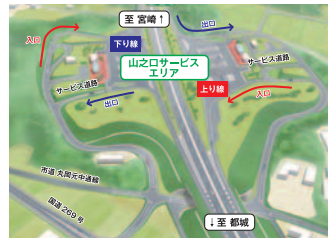
都城志布志道路整備関連事業

【予算額 808万円】

スマートIC(インターチェンジ)関連事業

【予算額 1億9,742万円】

山之口S/Aに設置が決まった、ETC装着車両専用のスマートIC周辺の道路整備などを行います。



山之口S/AスマートIC活用促進事業

【予算額 555万円】

市民や事業者がETC車載器を新たに購入して取り付けた場合、経費の一部を助成します。  
※上限額 一台当たり5,000円

基幹道路の整備事業

街区三股線整備事業

【予算額 3,303万円】

三股町との連携事業。山之口町の中心部と、平成27年春開業予定の都市郡医師会病院を結ぶことで、周辺住民の利便性や救急時の対応力向上を図ります。

鷹尾上長飯通線整備事業

【予算額 3億1,779万円】

国道269号郡元交差点から早水公園南側交差点までの区間整備を行います。

都城インター工業団地整備事業(穂満坊地区)

【予算額 7億9,988万円】

都市郡医師会病院等整備事業

【予算額 25億8,527万円】

後方支援拠点都市推進事業

【予算額 83万円】

大規模災害に備えた地域の防災力向上事業

【予算額 4,739万円】

自主防災組織を育成し、避難体制などを確立します。また、消防団の装備充実などを図ります。



人間力あふれる子どもたちの育成

ALITによる語学指導事業

【予算額 3,533万円】

小中学校の外国語教育の質的向上を図り、次世代を担う子どもたちが、豊かな国際感覚を身に付ける機会を提供します。



小学校図書館サポーター配置事業

【予算額 1,146万円】

市内の小学校に、図書館サポーターを年次的に増員。学校図書館活用の工夫や環境改善を図ることで、児童の読書活動を推進し、人間力の育成を進めます。

小中学校施設の耐震補強事業

【予算額 4億6,227万円】

早水公園整備事業

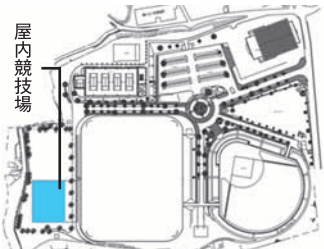
【予算額 2億6,850万円】

早水公園体育文化センターにサブアリーナと武道場を整備。弓道場や駐車場も新設します。

高城運動公園整備事業

【予算額 5億6,400万円】

利用者が安全で快適に競技できる屋内競技場の整備を進めます。併せて、スポーツキャンプ誘致など「スポーツランド都城」を推進します。



都城島津邸開館5周年記念事業

【予算額 1,123万円】

# PR事業と 中心市街地活性化事業

「笑顔あふれるまち＝スマイルシティ都城」の魅力  
を対外的にPRする事業と、中心市街地活性化  
のための予算を紹介します。



## 都城市をこれまで以上にPRするための事業

### 都城市PRロゴ作成事業

【予算額 1,108万円】

これまで以上に、「都城市」を  
対外的にPRしていくため、著名  
な書家「紫舟」さんに、本市のP  
Rロゴ作成を依頼。今後、広報紙  
やホームページ、その他の媒体な  
どで、PRロゴを積極的に活用し、  
本市の知名度の向上を図ります。



作品例：  
伊勢神宮第62回式年遷宮

これによ  
り、観光客  
誘致や企業  
誘致、全国  
での物産販  
売などで、  
大きな効果が期待されます。



作品例：  
「龍馬伝」題字

### ●紫舟さんの主な作品

伊勢神宮第62回式年遷宮「祝御  
遷宮」、NHK大河ドラマ「龍馬  
伝」、NHK教育番組「美の壺」、  
内閣官房・農林水産省「JAPPA  
N」ほか多数

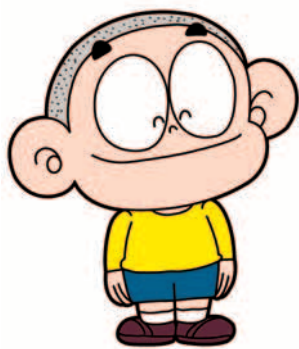
### 都城市PR推進事業

【予算額 37万円】

本市では、これまで、市内外で  
活躍する人たちに「都城特派大使」  
を委嘱して、都城の魅力を発信  
してきました。

平成25年4月には、その要件を  
見直し、「みやこんじょ大使」を  
新設。4月1日現在、131人の  
みやこんじょ大使が国内外で活動  
しています。

この中で、唯一のキャラクター  
である大使が、三股町在住のアマ  
チュア漫画家・今村幸一さんが描



●ほんちくんプロフィール  
・諸県ほんち（小学2年生）  
・すらすらと都城弁を話す

く「ほんちくん」です。本市では、  
平成25年度に、このキャラクター  
活用の協議を始めました。  
今後、ほんちくんが、広報紙や  
ホームページなどで、PRロゴと  
ともに、本市の魅力を対外的にP  
Rしていきます。

### ほんち君作者からのメッセージ

私の子どもとも言える存在のほんちくん。ほんちくんが「みやこんじょ大使」として、市内外の皆さんに都城市の魅力をPRしていくことに夢が膨らみます。今後、いろいろな楽しいほんちくんを描いて、都城の元気を発信していきます。



今村幸一さん  
ペンネーム みやこのジョー

### 紫舟さんのプロフィール

書を中心に、書画や  
立体造形、インタラク  
ティブアートなどを幅  
広く手掛け、日本の思  
想と伝統文化を、全く  
新しい表現で、世界に  
発信しています。「文化の限界をアートの方  
で超えていく」挑戦は、海外でも高く評価  
され、今、注目を浴びています。



紫舟さん



都城市をこれまで以上にPRするための事業

「肉と焼酎のまち・都城」推進事業

【予算額 132万円】

本市の代表的な地場産品である「肉」と「焼酎」。これらの地場産品をメインに地域ブランド化を強力に推進し、物産販売や観光促進など地域経済の活性化につなげていきます。



具体的には、「肉と焼酎のまち・都城」をテーマにパンフレットやポスターを作成。全国の公共施設や販売店などで



パンフレットを配布したり、ポスターを掲示したりすることで、都城産の肉と焼酎のイメージアップを図るとともに、本市の地場産品の浸透を推し進めます。

合併10周年記念都城島津家史料特別展

【予算額 6,186万円】

今年度から取り組む合併10周年記念事業の一環として、都城島津家史料特別展を開催します。



インタラクティブアートのイメージ

伝わる貴重な史料と、著名な書家「紫舟」さんが手掛けるインタラクティブアートを融合し、新しい表現手法も交えた多彩な展示を行うことで、本市の歴史や文化などの魅力を全国に発信します。

※インタラクティブアート 壁などに映し出した書道作品(書)

の映像に、人の影が触れると、その書が表す絵画などに切り替わる来場者参加型の芸術作品

●展示予定史料 鉄錆地南蛮胴具足、麒麟鳳凰図屏風ほか

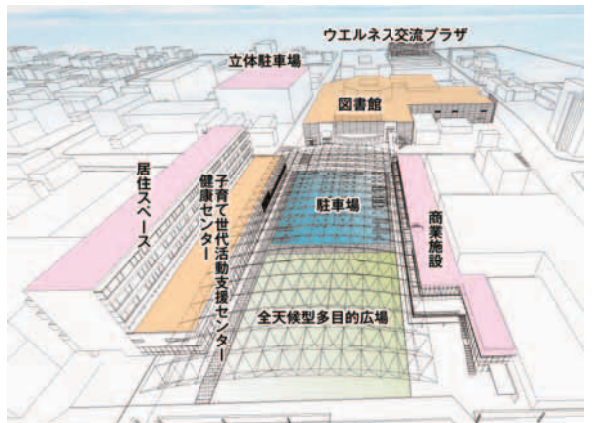
中心市街地活性化のための事業

中心市街地中核施設整備支援事業

【予算額 11億3,040万円】

中心市街地の活性化を図るため、民間事業者が主体となって実施する中核施設整備を支援します。具体的には、国の補助事業を活用して、民間事業者の施設整備を支援するほか、図書館や子育て世代活動支援センター、健康センター、全天候型多目的広場などの行政施設を整備します。

新たな都市機能を「まちなか」に創出することで、官民協働で中心市街地全体の活性化を図ります。



中心市街地中核施設の整備イメージ

まちなか活性化プラン事業

【予算額 1,096万円】

図書館や子育て世代活動支援センターなどの中核施設を整備する都城大丸跡地の再生計画案に併わせて、周辺の商店街や中心市街地を対象とした「都城市まちなか活性化プラン」に沿った事業を実施することで、中心市街地の活性化を図ります。なお、「都城市まちなか活性化プラン」で計画した事業は、平成25年に都城商工会議所が実施したアンケート調査などを参考に直直しを行いました。

◎まちなか活性化プラン事業

- 空店舗リフォーム、解体費補助事業 240万円
- 商店街イルミネーション事業 90万円
- シルバーアンテナショップ支援事業 212万円
- まちなか起業支援事業 30万円
- はばたけ未来の巨匠！高校生レストラン事業 60万円



イルミネーションのイメージ

# 夢ふくらむ 特色ある事業

スマイルシティ都城・前進予算として編成した、平成26年度予算の中で、これまで紹介した事業以外の特色ある事業を紹介します。



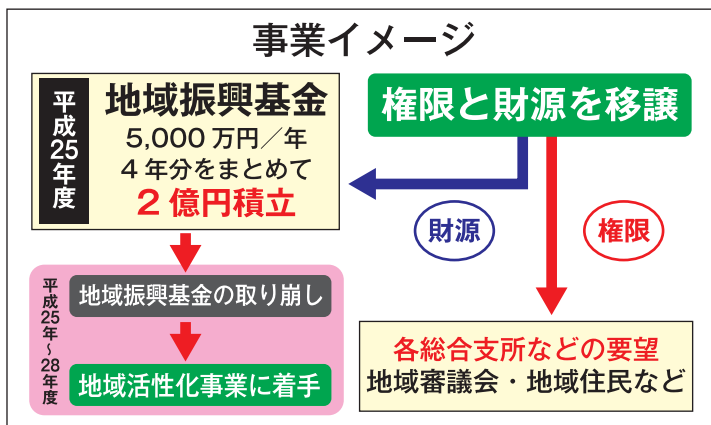
## 地域活性化事業

市内の山間部に位置する地域では、中心部に比べて少子高齢化が進み、人口も減少しています。そこで本市では、そのような地域の活性化を図るため、平成25年度に地域振興基金2億円を積み立てました。

対象となる地区では、地域住民で協議し、総合支所などで要望の調整を行い、実施する事業を決定します。

●事業期間 平成25年～28年度

●対象地区 志和池、庄内、西岳、中郷、山之口、高城、山田、高崎



## 平成26年度実施予定の 地域活性化事業

### 中郷地区（2事業）

【予算額 300万円】

### ●金御岳整備事業

### ●地域環境整備事業

### 山之口地区（10事業）

【予算額 841万円】

### ●地域環境整備事業

### ●乗合タクシー利用促進事業

### ●青井岳の森林活性化事業など

### 高城地区（1事業）

【予算額 320万円】

### ●防災無線整備事業

浸水区域のある石山、有水地区と土砂災害の警戒が必要な四家地区に、災害時の緊急連絡手段として携帯用無線機を配備します。

### 山田地区（1事業）

【予算額 1,778万円】

### ●地域コミュニティ無線整備事業

災害発生時などの情報伝達手段として、自治公民館が整備する地域コミュニティ無線の経費の一部を助成します。

### 高崎地区（2事業）

【予算額 543万円】

### ●地域おこし協力隊活用事業

●地区公民館等機能充実および各種団体OA研修事業

## 骨髄移植ドナー支援事業

【予算額 42万円】

公益財団法人日本骨髄バンクが実施している骨髄バンク事業において、骨髄または末梢血幹細胞を提供した人の負担を軽減するもので、九州の市町村では初の試み。これにより、多くの骨髄または末梢血幹細胞移植の実現と、ドナー登録者の増加を図ります。

### ●奨励金の額

ドナー 1日 2万円

※1回の提供で14万円が限度

ドナーが勤務する事業所

1日 1万円

※1回の提供で7万円が限度

## ご当地ラジオ体操推進事業

【予算額 87万円】

子どもから高齢者までなれ親しんでいるラジオ体操について、都城地域の方言で「みやこんじょラジオ体操」のCDを制作。市民の健康増進と併せて、幼少期から方言に触れることで、郷土愛の醸成を図ります。制作したCDは、学校や公民館などに配布し、スポーツイベントなどで活用。市民に笑顔を届けます。





## その他の特色ある事業

### 1 市民が主役のまち

- 議場改修事業 7,886 万円
- まちづくり協議会設置推進事業 5,602 万円
- 市歌制定事業 823 万円
- 女性総合相談事業 594 万円

### 2 ゆたかな心が育つまち

- 幼稚園における長時間預かり保育支援事業 3,671 万円
- 臨時福祉給付金給付事業 6 億 5,000 万円
- 子育て世帯臨時特例給付金給付事業 1 億 1,000 万円
- 高崎総合公園体育施設整備事業 3 億 1,142 万円
- 大島畠田遺跡整備事業 5,673 万円

### 3 緑あふれるまち

- リサイクル活動推進事業 4,014 万円
- 指定ごみ袋事業 9,112 万円
- ごみ収集運搬費 4 億 6,303 万円
- 志和池最終処分場第2期建設事業 2 億 6,700 万円
- し尿処理施設整備事業 5,000 万円

### 4 活力あるまち

- 鳥獣被害防止総合対策事業 363 万円
- 公設地方卸売市場整備事業 2,906 万円
- スポーツランド都城推進事業 613 万円
- クリーンセンター周辺広場整備事業 8,000 万円
- 地域安全対策事業 2,836 万円
- 消防団施設更新事業 2,000 万円



### 放課後児童クラブ事業

【予算額 2億1,542万円】

市では、平成9年度に川東小学校児童クラブを開設して以来、放課後児童クラブの拡充を図ってきました。そして、今年度、石山小学校に同クラブを開設することで、ほぼ全ての小学校区に放課後児童クラブまたは、放課後子ども教室の整備が完了します。

これにより、仕事などで日中、保護者が家庭にいない児童に、遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。



### 健康増進施設利用助成事業

【予算額 6,778万円】

市では、65歳以上の高齢者および身体障害者手帳所持者などの健康増進を目的に、市内5カ所の健康増進施設（温泉施設）での入浴料助成を行ってきました。

25年度に市内15地区で開催した「市長のスマイルミーティング」で出された要望を踏まえ、都城広域定住自立圏の協定を結ぶ鹿児島県曾於市と志布志市と協議し、今年度から3つの市にある公設温泉施設での入浴料助成を行います。

#### ●本市の温泉施設

青井岳荘、観音さくらの里、かかしの里ゆぼっぱ、やまだ温泉、ラスパたかざき

#### ●曾於市の温泉施設

メセナ住吉交流センター  
財部温泉健康センター  
大隅弥五郎伝説の里

#### ●志布志市の温泉施設

国民宿舎ボルベリアダグリ  
蓬の郷ふれあい交流センター

#### ●自己負担額

100円  
※ボルベリアダグリは200円

### 庁舎北側身障者駐車場増設事業

【予算額 1,217万円】

市役所本庁舎北側駐車場に屋根付きの駐車スペースを設け、降雨時に庁舎まで濡れずに移動できるよう改善します。併せて、同乗する身障者や高齢者が玄関付近で乗り降りできる場所と、トラックなどの荷下ろし場を設置します。

### 都城運動公園整備事業

【予算額 7,000万円】

妻ヶ丘町の都城運動公園テニスコートのうち6面を、全天候型の砂入り人工芝コートに改修。雨天時の競技大会などが可能となり、大会や合宿などの誘致を図ります。

### クリーンセンター建設事業

【予算額 30億1,649万円】

平成23年度から本体工事に着手したクリーンセンターが、今年度、竣工を迎えます。同施設は、今まで燃やせないゴミとして処理していたビニール類などを適正に焼却できるほか、ごみ焼却処理に伴い発生する熱エネルギーを回収して発電する機能を備えています。